かたひがし

昭和51年11月15日
第166号
発行
新潟県西蒲原郡潟東村
印刷
北洋印刷株式会社

＜村の人口＞

総人口	6,393人
男	3,135人
女	3,258人
世帯数	1,203

昭和51年10月31日現在

今井神社落成式

十一月三日

字民一同の念願みのる

霜月にはいり、「今井のお祭りはすごかったね……」と人々の間で言葉が交わされた。

何百年に一度の神殿造営。数日続いた雨風がすっかり上り、秋の日ざしの暖かな十一月二日、今井神社の御遷宮が行なわれました。

午後三時、氏子総代宅より御神霊が、みこしに乗り、神官の笛、太鼓、神社委員、稚子、それに氏子一同の行列に守られ、約一時間半部落内を回って新しい神殿に移られた。

その夜は、民謡流しがにぎやかに行なわれ、祭りのハイライトである花火が延々と二時間近く夜空に咲いた。三日も天気に恵まれ、竣工式が挙行されました。

この神殿が落成されるまでの字民の苦労は何かにつけたいへんなものだったと思います。字民の間に造営の声がでて、十数年、機会がなく造営にふみきれないままであったが、幸いにも好機がおとずれ、今年の一月に大字総代会において神殿の造営が決議された。以来、造営奉賛会が設立され、会長さんはじめ委員の方々により活動がなされました。いちばんの難題であった建築資金の確保も、字民の協力を得て予想以上の寄附が集まり、八月下旬着工。

また今まで宗教法人と認められてなかったため、県の認証の交付を得て、十月二十六日、法人登記完了をもって、公に認められた、今井神社が今、今井の部落に雄々と構えています。

戸籍謄本の請求は

「使用目的」を明らかに

来る十二月一日から戸籍謄本の交付請求のしかたが改正されます。改正の理由は戸籍を不当に利用して国民のプライバシーを侵害することのないようにすることにあります。

今後他人の戸籍や除籍の謄本を請求するときは「請求の事由」つまり何の目的に使用するかを具体的に示していただくことになります。もしその請求が不当な目的によるものであるときは、これに応じられないことになります。また、戸籍の閲覧はできなくなります。

なお郵便で請求する場合の手数料は、必ず現金書留か、郵便の定額小為替で納めてください。

御注意

本人といつわったり、うその事由を示して戸籍の謄本の交付を受けたときは過料に処せられることがあります。

みんなの文芸

おばあちゃん

南小学校　宮島　純子

家のおばあちゃんは、わたしが学校から帰ると、いつもぬい物をしています。それは、お客さんからたのまれた着物やカーテンをぬっているのです。

おばあちゃんももう六十才を過ぎたので針に糸を通すとき、わたしが通してあげます。白髪をとったり肩をもんだりしてあげるときもあります。

その代り、旅行や親類へ行くと、必ずおみやげを買って来てくれます。

わたしは、そんなおばあちゃんを大好きです。

おばあちゃんの友だちもみんなやさしい人たちばかりのようです。

わたしは、おばあちゃんっ子なので、おばあちゃんにもっとやさしくして、今までよりも良い子になろうと思います。

おばあちゃんにも、元気でもっともっと長生きをしていてほしいと思います。

訂正とおわび

先月号での、五十年度、村の財政―一般会計予算とありましたが、一般会計決算ですので訂正しておわびします。

窓を開いて みませんか

今回から、みんなの文芸――という欄をもうけました。この欄は、みなさんが日常生活で感ずることや詩、俳句などを登場させる窓です。この窓に、あなたも顔を出してみませんか。

――寄稿をお待ちしております。

広報担当係

〝郡下初の稲わら回収機械がお目見え〟

稲わらは重要な有機資源であります。

このわらが近年農業をとりまく環境の変化とともにその利活用が粗略化され、稲わら堆きゅう肥の減少による農用地の地力の減耗が懸念されております。

また、わら焼却による煙公害も問題となっております。

一方、畜産の面では濃厚飼料の依存度が高いため牛の償却が早くなっているとともに、飼料の自給力の低下により経営の不安定が叫ばれています。

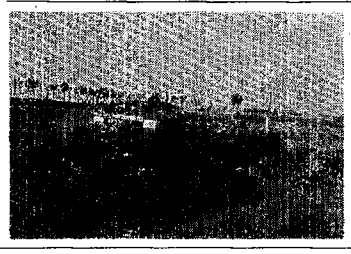
しかし、未利用資源となっているわらを集めることは、非常に労力を要するため一年間利用する量を確保することは大変な作業でありました。

これらの諸問題を解決する糸口として、このたび今井酪農組合では稲わら回収の機械を購入いたしました。

この機械は水田に放置されているわらを集める機械（ヘーメーカ）、集めたわらを結束する機械（ベーラー）、そしてこれらの機械を牽引するトラクターの三種類でありますが、既に十月から稼動しており、計画では五十ヘクタールのわらを集め乳牛の飼料および踏みわらとして利用し、わらを提供した農家へきゅう堆肥の原料を還元することになっております。

このように有畜農家と耕種農家の連けいにより稲わら対策ができるばかりでなく、畜産公害の防止、さらに土づくりにも一役買うことになり、今後の運営が期待されております。

なおこの機械は、緊急粗飼料増産総合対策事業という国庫補助事業で導入されました。



〝地力〟土づくりは、作物生産の基本であります。

最近、兼業化に伴ない、労働力の不足から、堆きゅう肥の施用量のみでなく、土壌改良資料の施用量までも、減少傾向にあり、化学肥料や農薬だけに頼る資源多消費型技術が幅をきかせています。

もちろん、化学肥料は今日の農業に欠かせないものですが、これだけでは限界があり、悪影響も出てきます。〝かたよる〟ことの弊害は、なにも化学肥料、農業の分野だけではなく、日常生活の上でも経験されることです。

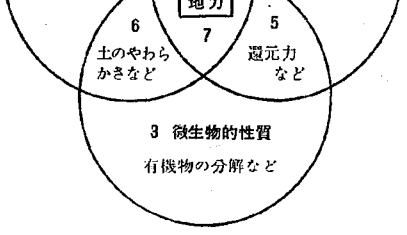
地力とは、人間にたとえれば、体力のようなもので、土壌の総合的な力の表現です。これは、次の表や図のように、①物理的性質、②化学的性質、③微生物的性質などに分けられて考えられています。しかし、実際にはこれらの性質が、お互いにからみあっている場合が多く、表1の四～七のように、二つ、あるいは、三つの性質が組合わされて単純に一つの性質として、理解できない複雑さがあります。

作物の根が気持よく伸びほしい養物をほしい時、吸収することができるためには、図のようなバランスのとれた地力であることが大切で、化学肥料だけでは当然、地力の維持ができません。

したがって有機物と化学肥料との調和のうえに多収をはかり増収した、作物残渣を全量土壌に還元してさらに増収をはかるという、自然の循環をうまく利用した農業が希まれます。

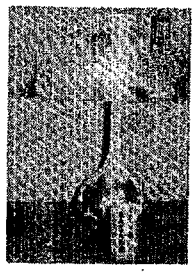
（表―1）

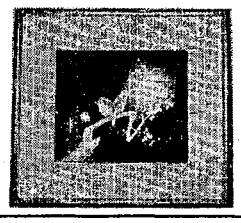
区分	主としてあらわれてくる性質	土の性質の例
1	物理的性質	水はけのよしあし
2	化学的性質	養分量
3	微生物的性質	動植物死体の分解
4	物理的性質と化学的性質	保肥力
5	化学的性質と微生物的性質	土の還元力の強弱
6	微生物的性質と物理的性質	土のやわらかさ
7	物理的性質と化学的性質と微生物的性質	いわゆる地力



樋口顕嗣翁――美術品寄贈

十月九日、潟東村名誉村民樋口さんより、イタリア製手吸ガラス花瓶、美術画（うるし絵）二点が寄贈され、美術館におさめられました。





庁内行事

下旬		
十一月一日	身体障害者相談	天仙閣
二十一日～二十七日	衛生委員会	農業会館
二十三日～二十六日	美術展	
二十七日～二十八日	郡婦人リーダー研修	（越前浜青年の家）
十一月	潟東村農業振興協議会各部門別共進会表彰式	
一日	糖尿病保健指導	農業会館
三日	乳児健康相談	農業会館
十一日～十二日	郡青年研修	（越前浜青年の家）
二十一日	危険物集収	
二十四日	小児マヒ生ワク投与	農業会館

経済講演会

昭和五十一年十一月二十日（土）午後一時半～三時半

会場　白根市産業厚生会館講堂

演題　最近の政財界の動向

講師　経済評論家　三鬼　陽之助

○入場無料

商工会・役場共催

源泉所得税の年末調整関係説明会

◎とき　十一月二十五日午前十時

◎ところ　役場委員会室

―おめさんも電話してみねかね―

（0252）67―7000

日	曜	テーマ
20	土	消費生活相談事例
21	日	
22	月	粉せっけんの試買テスト結果
23	火	
24	水	
25	木	加工食品の価格動向
26	金	
27	土	消費生活相談事例
28	日	
29	月	プラスチックの知識
30	火	

県消費生活センターでは、毎日すぐ役立つ消費生活情報を提供しております。

仲間たち

今回は、書道、写真、絵画を趣味に友好を深め、腕をみがいている仲間たち――陽美会を紹介します。

書道部、総員三九名、毎週水曜日の夜、遠藤公民館又は農業会館に小学生から中学、高校、大人、六五才位まで幅広い層で学習している。熱心に筆をはこんでいる仲間たち、静かであるが、にぎやかである。

「書道は、ひとり静かに楽しめる上品な趣味であり美しい字の人は心まで美しく思われます。また暮らしのうるおいとなり、子供の情操教育にも役立ちます。……と大島さん。

写真部門は現在、八名。D・P・Eの実習、撮影会の実施、コンテストの作品作り、撮影旅行と、芸術家さながら……。

引伸しも、全紙、全倍、等伸大とプロなみの技である。

現在、絵画部は三名という少数で活動している。学校あたりの部なら、どうにつぶれてしかるべき人数であろう。しかし絵画部三名は、それぞれにすばらしい個性の持ち主である。個性面だけで勝負すれば岩をもくだく意気おいである。技術面及び実力の面においても、これしかり。現在、それぞれ力作に取り組んでいる。すでに各種の展覧会に入選している会員もいる。

絵画部、吉田氏、曰く、芸術には頂点は無く、個性にも制限は無く、描き方にもきまりは無い……と力説する氏であるが、無いのは道具を買う金だけであると一言、つけ加えられた。

とにかく、芸術を通して、自分自身を磨くと共に、人と人との心のふれあいを持ち生きていけたらと……

こんな心暖かい仲間たちでありますが、あなたも仲間入りしませんか。

☆会員募集中

連絡先
書道部門―遠藤、
大島　富治（TEL　二四〇六）
写真部門―巻・潟東消防分署、
山賀　正行（TEL　二四二四）
絵画部門―巻・潟東消防分署、
吉田三千雄（TEL　二四二四）

子供の非行 ☆☆☆☆

親はどうしたらよいのか

青少年の非行がマスコミに大きくとりあげられている。この悲しい問題が私たちの村において、ないとは言えない。「自分の子に限っては……」という言葉を耳にするが、他人ごとで済まない問題だと思う。

感受性が強く、傷つき悩み多い年頃でもある青少年ましてや、親子断絶といわれる時世、昔のように親子で農作業をすることもなくなり、対話というものが少なくなってきつつある。暖かさのない家庭から生まれる非行。こわいものだと思います。

十月二十四日（日）潟東中学校に於いて、小中学生をもつPTAの方々が集まり、「健全な子どもを育成するためにPTAはどのようにしたらよいか」を主題に、四分科会に分かれて、研究会がなされた。このうち、第四分科会の「子供の非行防止について親はどうしたらよいか」――について討論されたことを、中学校の協力を得てまとめてみました。

〔非行のはじまり〕

嘘は何んとかの始まりと言う……。金をごまかして親からもらう、友達からの電話があり、こそこそ電話をして、夜遊び、外泊と家をあける。

家庭内でも、いらいら言葉を使い、おちつきがない。

――犯罪は夜、行なわれることが多い――

この親の目をぬすんでの行動を起こさせるものは何んなのだろう。

〔非行の原因〕

非行は突然に起こらないいくつかの要因が、二つ、三つと重なり、暗い道へはいっていく、学校に行って勉強、クラブ活動へと、何かに熱中できない青少年は悲しい。

そういう者は、どこに若さのはけ口をむけるのだろうか――？

また一番の原因である、親のしつけ。一家の中が親子、きがねなく話がされる環境にあればいいのだが。親が叱かると、反対に「頭が古い」とやりこめられてしまう。正しい方向にもっていく能力にかけていないだろうか？良いこと、悪いことに今も昔も変わりはないはずである。

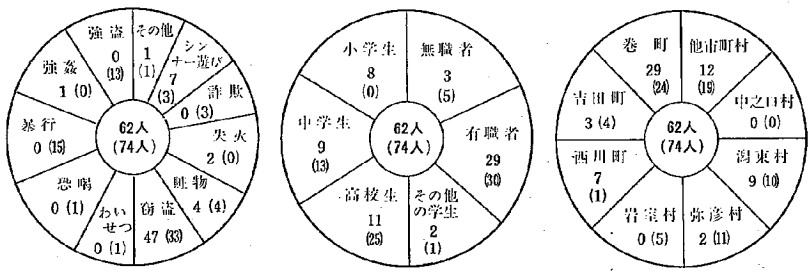
〔非行の防止〕

まず非行の要因を作らないこと、何んといっても、親子が気軽に対話できる暖かい家庭であること、それでいて、甘やかし過ぎのない、しっかりした家庭でありたい。

部屋を与えられた子供はややもすると親が子供の部屋にはいるのをきらう。密室で友達数人集まり、喫煙飲酒していたという例も数多い。親が子供の部屋にはいってみることも必要ではないだろうか。

（昭和51年1月から6月まで）　**少年補導状況**　（（ ）内は昭和50年1月から6月まで）

巻警察署補導犯罪（含触法）少年



※巻署管内では，本村の青少年の補導発生が上位にランクされる。

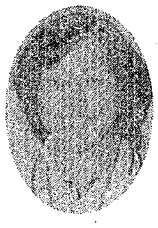
1日1円の交通災害共済
支給要件は実治療日数が7日以上のもの

交通事故が毎日のように，新聞，テレビ等で報道されています。事故による死亡者は全国的に，昨年より減少していますが，わたしたちの村では，交通事故により，交通災害共済に見舞金請求された方が，昨年一年で11名であったものが，今年度は，10月末ですでに12名となっております。不慮の事故とはいえ，軽い事故であればよいのですが，……。

交通災害共済（見舞金請求される場合，災害の程度によって九等級（1万円）から一等級（死亡70万円）と段階があります。

そこで軽傷で請求される場合，医師から実際に治療を受けた日数が7日以上（医師が証明した診断書による）でないと支給の対象になりません。たとえば，事故で1カ月仕事を休み，家で養生しても，入院，通院し，実際に治療した日数が6日だとしたら，請求しても，請求の際に添えてもらう診断書を医師から，お金を出して証明してもらってもムダになりますので，請求の際はご注意下さい。

ヒーローの顔



十一月四日から七日の四日間、東京で全国青年大会が開かれ、本村から県代表として陸上競技の部で参加した、田中由美子さんが、女子走高跳で健闘され、みごと第二位、銀メダルを獲得され、潟東青年の意気を充分示しました。

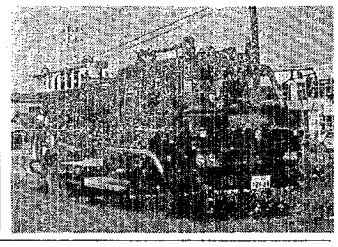
巻・潟東に化学消防車登場

どうですか、みるからにたくましそうな化学消防車ですね。

十月二十日、巻署に納車されました。

最大放水量一分間で二、〇〇〇リットル、水槽は一、〇〇〇リットルを備え、二〇ミリ筒先で約二分間、放水できる。

業液槽は三〇〇リットルで特に、油類の火災に於いては、有効泡放射をなし、強力な消火力を発揮します。



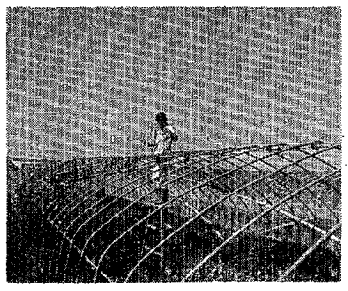
"火災は人災 防ぐはあなた"
秋の火災予防運動週間
11月26日～12月2日まで

わたしの副業 その・五、

寒さが増すとともに、なべ料理などに暖をとるのもこれら。国見の斎藤さんは、なべ料理によく使われる、しゅん菊を副業として栽培されています。現在、ハウス三棟、四・六アール栽培されている。潟東村では、十六名で四九・五アールのしゅん菊が農協を通じ各市場へ出荷されている。例年、十月の上旬に播種され、十一月下旬収穫、翌年三月まで出荷されます。

栽培は、簡単であり、予防はほとんど必要なく、出荷にかかる包装等の経費が安い反面、値の上下が激しい。

育苗ハウスを使ったあとの有効利用として、しゅん菊栽培での副業であるが、「うちは稲作が主体です、副業での収入を稲作の経費へと当ててゆきたい」と斎藤さんは作業の手を休め語って下さいました。



冬にそなえ、ハウスの補強、ビニールかけの作業。雪も多く降る頃は高値を呼ぶ。

手をつなごう
脳卒中後遺症者の集い
「再生会」が誕生　会長に本間毅さん

脳卒中後遺症者が、お互いに手をとり合い、励まし合い、障害を克服し合い余生を明るく生きようと、けなげな願いをこめ、今春以来"友の会"結成に取り組んでいましたが、この度ようやく気運が熟し、先日天仙閣で盛大に発会式が開かれました。

村長代理、高橋助役、巻保健所長ほか大勢の来賓から激励の祝辞を受けた後、発会式の進行役として笠巻健一氏（茨島）を議長に選び、会の名称を潟東村再生会と名づけ、会則、事業計画等を決めたあと、初代会長には脳卒中後遺症を見事に克服して十数年のキャリアをもつ、本間毅氏（水沢）を選び、最後に"皆んなが努力し、励まし合い、将来の悪化を予防するとともに、自立心と社会復帰につとめ、ひいては地域社会の発展に貢献しよう"と誓い合って会を閉じた。

なお発会式終了後、保健委員と役場住民福祉課女子職員の心づくしの料理で、ささやかな昼食会が催され昼食後のアトラクションで住民福祉課芸能部の珍芸をはじめ、保健委員のお母さん方から民謡が披露され、参会者一同この日だけは障害を忘れ明るく生き生きとした表情で一日を楽しまれている様子だった。

村民の皆さん「再生会」の発展のために暖かいご声援をお願いします。

くらしのサロン
塩抜き
するときは塩水につける

昔から「塩が塩を呼ぶ」といって，塩気の強い鮭やしょっぱい漬物の塩抜きをするとき，薄い塩水につけるとよいといわれてきました。

これは呼び塩ともいい，浸透圧の原理がいかされています。つまり鮭の塩分とつけ水の塩分が，同じ濃度になろうとするため，ただの水よりも早く塩を抜くことができるのです。

水と鮭とが同じ濃度になれば，塩分は動きませんので，さらに薄い塩水に取り替えます。こうしていくうちに，塩抜きができるわけです。

うぶごえ　（10月中届出）

なまえ	生年月日	保護者	住所
小林朱酉美	51. 9.28	誠治	井随
佐藤香織	51.10. 2	昇	水沢新田
小林礼子	51.10. 8	昌一	山口新田
山口直人	51.10.20	高志	山口新田

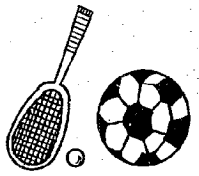
おくやみ　（10月中届出）

なまえ	なくなられた日	年令	住所
佐藤マツノ	51. 9.30	93	孫名
藤田精造	51.10.12	75	水沢新田
桑原一	51.10.22	45	井随

匿名寄付金
ありがとうございました

先日、「村の一隅にて心するものです、ほんの心ばかりの額で恐縮ですがささやかな役立になればと思います。今後共、一層の御活躍を期待致しております。」と一万円同封のお手紙が届きました。村のどこかで私達の活動を見守っていて下さる方があると知って会員一同とても嬉しく思いました。貴方の善意は大切に使わせて頂きます。本当にありがとうございました。

潟東村
ボランディアサークル



幸せをみんなで築く明るい選挙　衆議院議員選挙投票日　十二月五日